

平成28年 8月 2日

担 当	石川県土木部都市計画課 駒田
内 線	5201
外 線	225-1758

「中核都市における新・交通システム研究会」 平成28年度総会及び第44回研究会の開催等について

「中核都市における新・交通システム研究会」は、新しい交通システムの導入に対し共通の認識をもつ県及び中核都市を中心として、平成7年に設立され、現在、11団体（2県9市）で構成されている。本研究会では、新しい交通システムの導入に向けた研究活動や現行制度の改善策を検討し、中核都市における新しい交通システムの導入促進を図ることを目的に活動している。

8月3日（水）に、平成28年度総会及び第44回研究会を開催し、終了後、制度提案活動を行う。

1. 平成28年度総会及び第44回研究会

日 時 平成28年8月3日（水） 13:00～14:50
場 所 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2
全国都市会館 B1F「第3会議室」 TEL 03-3262-5231

平成28年度総会

13:00～13:30

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ 金沢市長 山野 之義
- 3 来賓あいさつ 国土交通省 都市局 街路交通施設課長 渡邊 浩司
- 4 議案審議
議案第1号 平成27年度事業報告
議案第2号 平成27年度会計決算報告、監査報告
議案第3号 平成28年度事業計画（案）
議案第4号 平成28年度事業予算（案）
- 5 閉 会

第44回研究会

13:40～14:50

講 演

演 題 「コンパクト+ネットワーク」に求められる地域交通戦略
講 師 福島大学 教育研究院 准教授 吉田 樹

2. 制度提案活動

15:15～16:00

研究会の終了後、国土交通省関係部局に対し、研究会の活動報告並びに現行制度の改善を求める提案書の提出を行う。

会 員 名 簿

(平成28年8月現在)

地方公共団体名	代 表 名	連 絡 先
栃木県	県土整備部長 印南 洋之	〒320-8501 宇都宮市塙田1-1-20 県土整備部交通政策課 TEL(028)623-2447 FAX(028)623-2399
宇都宮市	市 長 佐藤 栄一	〒320-8540 宇都宮市旭1-1-5 建設部LRT整備室 TEL(028)632-2305 FAX(028)639-0626
新潟市	市 長 篠田 昭	〒951-8550 新潟市中央区学校町通1番町602-1 都市政策部新交通推進課 TEL(025)226-2755 FAX(025)229-5150
富山市	市 長 森 雅志	〒930-8510 富山市新桜町7-38 都市整備部交通政策課 TEL(076)443-2192 FAX(076)443-2190
石川県	土木部長 盛谷 明弘	〒920-8580 金沢市鞍月1-1 土木部都市計画課 TEL(076)225-1758 FAX(076)225-1760
金沢市	市 長 山野 之義	〒920-8577 金沢市広坂1-1-1 都市政策局交通政策部交通政策課 TEL(076)220-2038 FAX(076)220-2048
岐阜市	市 長 細江 茂光	〒500-8701 岐阜市今沢町18 企画部交通総合政策課 TEL(058)214-2017 FAX(058)264-1719
静岡市	市 長 田辺 信宏	〒420-8602 静岡市葵区追手町5-1 都市局都市計画部交通政策課 TEL(054)221-1471 FAX(054)221-1060
姫路市	市 長 石見 利勝	〒670-8501 姫路市安田4-1 都市局交通計画室 TEL(079)221-2465 FAX(079)289-0588
岡山市	市 長 大森 雅夫	〒700-8544 岡山市北区大供1-1-1 都市整備局交通政策課 TEL(086)803-1374 FAX(086)234-0435
高松市	市 長 大西 秀人	〒760-8571 高松市番町1-8-15 市民政策局コンパクト・エコシティ推進部交通政策課 TEL(087)839-2138 FAX(087)839-2125

会員：11団体（2県9市）

連絡先：石川県土木部都市計画課 TEL (076) 225-1758 / 金沢市都市政策局交通政策部交通政策課 TEL (076) 220-2038

中核都市における研究会 新・交通システム研究会 2016



表紙：新潟BRT（新潟市）

平成28年8月作成

ごあいさつ



中核都市における
新・交通システム研究会 会長
(金沢市長)
山野 之義

近年、急激な人口減少や高齢化が進む中、依然として自動車への依存度は高く、地域の生活に必要な足の確保が求められており、幹線交通ネットワークの強化と併せ、人が主役となる交通環境の整備が課題となっています。

昨年8月に閣議決定された国土形成計画(全国計画)では、地域にとって最適な公共交通ネットワークの実現を強力に推進するため、地方公共団体が中心となって、土地利用等の都市計画と連携し、小さな拠点やコンパクトシティ、あるいは連携中枢都市圏の形成にも資するよう、交通ネットワークの再構築を図ることが必要とされています。

地域公共交通ネットワーク再構築の中心的役割を担う新しい交通システムについては、各自治体においても活発に導入に向けた議論が交わされていると認識しています。本研究会の発足以来、国の補助制度が拡充され、全国の都市で導入計画や実際に導入される動きが見られるのは、たゆみなく研究・提言を続けてきた本研究会の成果であると言えるのではないのでしょうか。

今後も、本研究会の活動を通して、本研究会会員都市をはじめとするそれぞれの自治体と連携し、新しい交通システムの導入がさらに促進される環境づくりに努めてまいりたいと考えております。そのためにも、国土交通省をはじめ関係各位のより一層のご指導とご支援を賜りますようお願いいたします。

第44回研究会

演題 「コンパクト+ネットワーク」に求められる地域交通戦略
講師 福島大学 教育研究院 准教授 吉田 樹



福島大学 教育研究院 准教授
吉田 樹

「コンパクト+ネットワーク」の都市づくりが求められるなか、地域公共交通は「くらしの足」を支える地域内の対流とともに、交流による地域内外の対流を生み出す「道具」になることが求められます。しかし、わが国の地域公共交通は、長年にわたり「負のスパイラル」が続いてきました。利用者の減少にあわせて、サービス水準を低下させることで、さらなる利用者の逸走を招いてきたのです。その結果、公共交通事業(とくに乗合バス事業)の生産性が低下し、地方都市の「まちなか」からは「顔の見える」空間が失われていきました。こうしたなか、全国各地で地域公共交通計画(地域公共交通網形成計画など)の策定が進められていますが、こうした「負のスパイラル」をどう食い止めるかが大きな鍵となります。今回の講演では、私が各地で携わった事例をもとに、「負のスパイラル」を「正のスパイラル」に変え、地域内と地域内外の「対流」を生みだし、まちと公共交通を元気にするための方略についてお話しします。

研究会の目的及び活動内容

近年のモータリゼーションの進展に伴い、特に中核都市では道路交通渋滞やバス等公共交通利用者の減少が顕著となっており、都市機能の維持増進に大きな障害となっています。

今後、中核都市が発展していくためには、都市交通問題の解決や都市機能の強化が必要であり、将来の総合都市交通体系の形成とまちづくりの形成を図るためには、新しい交通システムの導入が不可欠です。そこで、新しい交通システムの導入に対し共通の認識をもつ県及び中核都市を中心として、平成7年8月3日に「中核都市における新・交通システム研究会」が設立しました。

本研究会では、現実化に向けた研究活動や現行制度の改善策を検討し、中核都市における新しい交通システムの導入促進を図るため、次の活動を行います。

- (1) 新しい交通システムについての調査、研究及び企画の立案
- (2) 中核都市における新しい交通システムについての情報交換
- (3) 中核都市における新しい交通システム導入促進のための陳情、要望活動
- (4) その他研究会の目的を達成するための必要な活動

平成27年度活動内容

H27.7.24 総会及び第42回研究会<東京都：全国都市会館>

- ・平成27年度総会
- ・第42回研究会

基調講演「都市交通システムにおける連携の大切さ」
東京大学 工学系研究科 教授 加藤 浩徳

- ・国への提案書の提出

H27.11.5～6 第43回研究会<新潟市：万代シルバーホテル>

- ①事例報告 「新潟市の新バスシステムの狙いと課題」
新潟市 都市政策部長 大勝 孝雄
- ②事例報告 「東京のBRT計画について」
東京都 都市整備局 都市基盤部 交通計画調整担当課長 松本 祐一
- ③講 話 「これからのまちづくりと公共交通について」
国土交通省 都市局 街路交通施設課 街路交通施設企画室 企画専門官 酒井 了
- ④基調講演 「都市と交通の相互連携再考 -新たなライフスタイルを提案する都市交通の計画と思想-」
日本大学 理工学部 准教授 大沢 昌玄
- ⑤現地調査 新潟市BRTの視察・試乗

平成28年度スケジュール

8月 総会及び第44回研究会

11月 第45回研究会

■設立

平成7年
8月3日

■研究会役員

会 長 金沢市長
監 事 新潟市
事務局 石川県

■加入団体

2県9市